

自動車・同付属品製造業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	11~12	プレス型替えの段取りをしている時に、ホースから油圧が出るスイッチが入ったままになっていたため、ホースを金型に差し込もうとした時、油圧の反動でホースが胸に強く当たった。	38	100~299
2	23~24	製品補充者がピッキング作業場へ製品補充後、バックで走行していた時、出荷作業者が製品確認のため、その後方で待機していた。製品補充者がバック走行で下がって来たが、出荷作業者が自分に気付いていない様だったので慌ててクラクションを鳴らした。製品補充者はその音でブレーキを踏んだが間に合わず、出荷作業者のフォークリフト爪部分と製品補充者フォークリフトの後部が接触した。	36	1~9
2	11~12	塗装ライン搬入出シャッター前にて、2名でそれぞれ搬出する台車1台ずつを搬送中、2人目の作業者が1人目の作業者と自らが押している台車の距離感を見誤り1人目の作業者のアキレス腱部に台車前側下部の角材を衝突させ、打撲に至った。	23	10~29
2	3~4	完成品パレットに入れるために立っていた時に他の作業者がハンドリフターで製品（約150kg）入りパレットを運搬していたところ、右側に置いてあったパレットに接触して動き被災者の足に当たった反動で右足首を捻り捻挫した。	36	100~299
2	15~16	鑄造工場で、出入口において、運搬車両（エレカ）に台車を連結させ、移動していた時に出口側のクイックシャッター前で一旦停止し、左右確認後再発進した際、加工してきたシャッターが頭に接触し、負傷した。	49	100~299
5	11~12	当社組立工場内において、キャリアカーを製作中、立面の対角を補助者が右上を当人が左下で銅製の巻き尺を手で持ってポイントを測定後、次の測定場所へ移動しようとしたところ、持っていた巻尺が大きく振れて顔面を直撃し、右目に入った。	48	10~29

7	10~11	本社工場内の防錆作業スペースにおいて、車両のアンダー足回りの防錆作業中。架台の下から車両の足回りに防錆スプレーをかけていたところ、架台上の車両が動き出し、車両のアンダーの金属部分がスプレーを持った右手中指・薬指に接触し受傷したもの。車両は運転者がおり、被災者の作業が終了する前に見切り発進したものである。	44	100 ～ 299
7	12～ 13	構内道路に面した製品ストアの高位置に取り付けた表示板を、道路上に出て見上げて確認していたとき、ラックを積載したフォークリフトが被災者の左側から後退走行してきた。運転者の後方確認不足で、フォークリフトの後部が被災者に接触し、右後部タイヤで左足を受傷した。なお、当該道路は通常、作業者の往来がない箇所であるが、たまたま歩行用安全通路からはみ出したとのことである。	58	500 ～ 999
9	14～ 15	リフトマンと2人で板パレットを運ぶ時、足元にあったH鋼に気づかず踏んでしまい、そのはずみでH鋼が反転し右足に衝突、右足親指を骨折した。	39	100 ～ 299
10	10～ 11	工場内で製品にバンドをする際に、本人が通路に飛び出したところ、通路を歩いていた前方不注意のフォークリフトと接触して負傷した。	35	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html